

2020.11.5 (木)
第16回例会
(通算 3610 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは社会の架け橋
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第 2500 地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	第 7 分区ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問例会 (担当: 理事会)
次週例会	講師例会「中小企業強靱化法対策 ~ 激甚化する自然災害とその備えについて ~」 (担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング:「それでこそロータリー」 ■ソングリーダー: 織田 亨君

■会員数 99 名

■ビジター 2500 地区 第 7 分区 石田 博司ガバナー補佐、

同 工藤 彦夫幹事、同 樋口 貴広幹事、同 青木 泰憲副幹事
釧路北ロータリークラブ 平澤 利秀会長、同 中島 仁実幹事
白糠ロータリークラブ 大坪 洋一会長、同 美馬 俊哉幹事
釧路西ロータリークラブ 請川 透会長
釧路東ロータリークラブ 板倉 正夫会長、同 益子 良弘幹事
釧路南ロータリークラブ 奈良 清成会長、同 菊地 祐司幹事
釧路ベイロータリークラブ 森 圭一郎会長、同 小平 優之幹事
釧路北ロータリーアクトクラブ 日野 聡子会長、同 松永 憲人幹事

■ゲスト なし

会長の時間

舟木 博会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はどうぞごゆっくり。

それでは、会長の時間を使わせていただきます。前の会長の時間に春採湖の話を作らせていただいたのですが、話を少し残した部分がありましたので、その続きを話させていただきます。実はその後、春採湖の1周を約1時間で回るところを早足45分ほどで回ることができました。その時、行き交う人は22人ほどおまして、2割くらいがランニング姿で駆け抜けて来まして。ちょうどナナカマドが紅葉でして、ナラの木も黄色い紅葉で大変きれいな良い散歩でした。歩いていたら春採湖のバードウォッチングができる東家本店側に来た時に思い出したこと

がありました。

あの辺りに昔、旧、柏木小学校があったと思うのですが、そのあたりは本当に柏の木の大群生地帯だったことから柏木小学校の名前が付いたと聞いております。その辺りはバードウォッチの1帯なのですが、もともと沼だったと聞いております。当会員の白崎さんの自宅の裏にお供え山があるのですが、あの立派なお供え山くらいの大きさのものが現存したらしいです。それで埋め立ててこの1帯を干拓してみたいです。

『チャシ』というと、昔の上田ボート屋さんの入り口の所が現在、『チャランケチャシ』として残っております。ですから、春採湖には2つのチャシがあったこととなります。

子どもの頃はよくチャランケチャシで「チャランケ」という言葉を使った記憶があります。子どもの喧嘩や争いごとの時に「チャランケつけているのか!」という形で使っていた、これはかなり古い人間かもしれません。今は使わないと思います。昔はそういうアイヌ

語を使っていたことを思い出しました。

現在、アイヌ語はほとんど死語になりかけておりますが、アメリカのハワイ、ニュージーランドでは現地語を幼稚園から小学校・中学校・高校・大学までカリキュラムに取り入れて、地域の観光や地域共生に役立っているとされておりまして、釧路市でもぜひ始めてほしい知的財産だと思っております。

最近では南海トラフ地震のことが大変話題になっております。釧路では数百年に一度の大地震のことがヌサマイアイヌの言い伝えで残っていると聞いております。この話では、海岸から春採湖に押し寄せた巨大津波が丘を越えて、城山・鶴ヶ岱まで流れ込んでいたということです。やはり15m越えの津波があったと言い伝えとして聞いております。

現在、釧路地方では津波に対する準備や警告が少ないと思っております。私はお遍路で四国を十数年歩いていますが、四国の海岸沿いを歩いて気が付くのですが、この10年の間に海岸地域に高層避難所建設、崖の避難はしご、津波到着点の表示板、避難ルートの表示、緊急無線、警報、防波堤、などの防災インフラが目を見張るほど充実しております。一方で、釧路地方は国会議員が3人もおりますが、どんどん国から予算を取って地震・津波に対する備えをしてほしいと思っております。

今日は雑多な春採湖にまつわる話をさせていただきます。

この会長の時間をいただいて、報告事項をひとつさせていただきます。

本日は年次総会の1カ月前となっておりますので、皆さまに大事なお知らせをいたします。いよいよ次々年度の会長と次年度の理事を決めなきゃならない時期になりました。当クラブの細則第5条1節に『本クラブの年次総会を12月第1例会に開催し、そこで次年度の役員と理事の選挙を行う』とあります。今年度の年次総会は12月3日に開催を予定しております。また、細則3条1節には『選挙の1カ月前の例会において議長たる会員は次々年度の会長、次年度の副会長、幹事、会計、空席になっている理事の候補を立てることを求めなければならない』となっております。『候補者は指名委員会、または会員のいずれか一方、または双方により立てることができる』となっております。まずは、皆さんの中より立候補を募りたいと思っております。立候補をお考えの方は、来週11月12日の例会までにお申し込みください。

その後、指名委員会を設置させていただき、指名委員会による候補者の検討を進めさせていただきますのでよろしく願いいたします。以上、報告を終わります。ありがとうございます。

■本日のプログラム■

第7分区分ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問例会

乾杯のご挨拶 吉田 潤司パストガバナー



皆さん、こんにちは。石田ガバナー補佐また地区幹事の皆さま、各クラブの会長・幹事様、今日はようこそおいでいただきました。この大変な時にこの役を受

けられるのは大変ですが、多分、一生の思い出になると思います。こういう時だからこそ、ぜひいろんな英知を絞っていただきまして、地区の活性化、それからクラブの活性化のために頑張ってくださいと思います。

皆さま方には、残りの日にちがたくさんあります。大いに活躍していただきますように祈念いたしまして乾杯したいと思います。お願いいたします。

それでは、皆さま方の活躍をお祈りいたしまして乾杯します。

国際ロータリー第2500地区第7分区分

石田 博司ガバナー補佐

先ほどから「さすがガバナー補佐、マスクもロータリーマスクをしている」という声がちらほらと聞きました。これは石田家の家紋でありま



して、ひいじいさんの遺言で、「一旦緩急の時には関ヶ原以来代々伝わっているこのマスクをするように」という遺言がありました。この度、石田家の一大事ですので、このマスクをして世に出ているわけでございます。もちろん嘘ですけども。

これはどこに売っているのかということ、マスクは売っているのですが、これは『アイロンワッペン』なのです。ネットで探してワッペンを付ける。なんでそんなことをするのかは、目立たないで隠れていると何をするか分からないものですから、皆さまに監視をさせていただく意味で、常に目立つマスクをしようという自己防衛の一種であります。どうぞ怪しいことがありましたら、どんどん通報していただくなり、ご注意いただくようお願いいたします。

11月になりまして何とか表敬訪問をすることができました。予定者段階の5月に、初めての分区分内の会長・幹事会議をやっと開催させていただきました。その時

には「ガバナー公式訪問はリモートを使ってでも行う」と決定していました。「それでは表敬訪問はどうする」という話になりましたが、どうするかの声が出ず、お互いが見合っている。その内に「この時期にするものですか」という意見が出て、ある会長からは「そもそも表敬訪問はなぜするのか、しなきゃいけないのですか」という声が上がりました。

大方の会長・幹事は一生に一度の機会です。クラブによっては何回もしなきゃいけないクラブもありますが、それにしても何回目であろうと会長あるいは幹事になった方は、R I 会長の方針、あるいはガバナーの方針に沿ってクラブを運営する舵取りをしなきゃいけない。また、ロータリークラブはネットワークですから社交界デビューとでもいうべき尊い機会でありませぬ。そのような時に、大きな責任を持って引っ張って行かなきゃいけない新しい会長・幹事さんのお披露目の機会が表敬訪問だと私は思うのです。それで、その機会を何としてもつぶすわけにはいかない。ですから、会長・幹事会の会議の席上ではそう思うので「6月までの任期のどこかでやりたいと思う。無理ならばしないけれども」ということで解散しました。それで、日を追っていくうちに皆さまもコロナに対する精神的な抗体ができてきたのか、そう抵抗もなく「やろうか」という空気になりましたので、今日の釧路クラブが第1番になったわけです。

とは言いますが、会場が狭い、あるいはクラブのプログラムを組んでしまった、ということで行うのは釧路クラブと東クラブとベイの3つなのですが、会長・幹事の皆さんと行ってまいります。会長・幹事の諸君は「自分のところでは遠慮したいけれども、表敬訪問はさせていただきたい」という声がありますので行ってまいりたいと思います。

1年間の重大な重要な役が終わった後も、皆さんはパスト会長という立場で陰に陽に自分のクラブに力を尽くさなきゃいけない、大きな、大きな責任があります。今日はその会長・幹事の決意と覚悟と希望の言葉をどうぞ聞いてやっていただい、激励の拍手をいただければ幸いです。

ありがとうございました。

釧路北ロータリークラブ

平澤 利秀会長、中島 仁実幹事



ご紹介いただきました釧路北ロータリークラブの今年度会長を務めております平澤と申します。一緒に登壇しているのが幹事を務めます中島仁実です。どう

ぞよろしくお願いたします。

歴史と伝統ある釧路ロータリークラブの舟木会長様、荒井幹事様の年度にこうして表敬訪問させていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

新年度がスタートして早いもので4カ月が過ぎました。いまだに世界でも新型コロナウイルスが終息できていないこの状況で、P E T S 地区協議会はズーム(Zoom)での開催となりました。地区大会も3月に延期になる予定です。まだ予断を許さない状況下で、こうして共に新年度がスタートできましたことに敬意を表するところでもございます。

さて、今年度の釧路北ロータリークラブは会長方針を『見つめ直そう、ロータリアンとしての品格・プライド』と掲げさせていただきました。これは会員一人一人が年齢・年数に関係なく、ロータリアンとしての奉仕の理想を見つめ直す、今一度勉強し直す、確認をする、そんな1年にしたいと思って決めたテーマでございます。

また、当クラブは純増マイナス9名により70名でのスタートとなりました。当クラブだけの問題ではなく2500地区も、また他の地区でも会員の減少が危ぶまれているところでもございます。また、R I はローターアクトクラブの扱いを大きく変化させ、大幅な会員増強を推進し、2022年度にはローターアクトに対して人頭分担金を発生させる旨を決定しました。

そこで私たち北クラブは今年度の重点目標のひとつに『ローターアクトの会員増強および活動支援の充実』を掲げました。新たにローターアクト委員会を設立し、



今まで以上にクラブとアクトの関係を構築して、若い世代をロータリーへの世界へと活性化させて行きたいと考えました。現在、アクトクラブは11名しか在籍しておりませぬ。どうか皆さまの会社の若手社員、取引先の若手社員の方でご紹介・ご推薦できる方がおりましたらお願いしたいと思います。

結びに重点目標で『R I・地区・分区事業への積極的な推進・協力』も掲げさせていただきました。I M、周年記念行事など全面的に協力して行きたいと思っております。クラブの問題、分区事業の問題、地区の課題など、ひとつのロータリアンとして課題を共有し、共に取り組めたらと思っています。

まだ言い尽くせぬところはございますが、今年度も充実した1年になりますように決意、願ひまして共に頑張りましょう。

1年間どうぞよろしくお願いたします。

白糠ロータリークラブ

大坪 洋一会長、美馬 俊哉幹事



大変失礼ですがマスクを外してご挨拶させていただきたいと思っております。白糠ロータリークラブ会長を務めさせていただきます大坪です。そして、美馬幹事で

あります。どうぞ1年間よろしくお願いたします。私は2回目の会長となりました。先ほど石田ガバナー補佐が仰っていた「なかなかなるものではない」ところなのですが、白糠は3年に1度、会長あるいは幹事にもれなくなるクラブでして、会長をやりたい、幹事をやりたい、という方がおりましたら移籍もいいのではないかなど。

冗談はさておき、白糠ロータリークラブは微増ですが1名増えまして、10名から11名。1割増とはなかなか他のクラブではできない数字



かと思っております。白糠は企業の世代交代がかなり進んでおまして、少しずつ良くなったところに、このコロナ禍で会員増強がなかなか前を進みません。ただ、100数年前のアメリカのシカゴでロータリーが発足した時に4人からスタートしております。白糠は10人いるのではないかと、11人いるのではないかと、なんとか支え合いながら、仲間の絆を深め合いながら、このコロナ禍を乗り切って行こうと思っております。微力ではありますが、石田ガバナー補佐の下、しっかり支えられるような白糠クラブでいきたいと思っております。残り8カ月、皆さまどうぞよろしくお願いたします。

釧路西ロータリークラブ

請川 透会長

皆さま、こんにちは。今年度、釧路西ロータリークラブ会長を仰せつかりました請川透と申します。幹事は今日、欠席しておりますが小栗直也が務めさせていただきますいております。今後ともどうぞよろしくお願申し上げます。



日頃より釧路ロータリークラブ様におかれましては、

当西クラブに対しまして特段のご厚情を賜りまして心より感謝とお礼を申し上げます。次年度でございます。

昨年度は私、幹事を務めさせていただきました。昨年度、吉田ガバナー様、そして貴クラブ天方直前会長様、松井直前幹事様をはじめ、クラブ会員の皆さまに大変お世話になりましたこと改めて深く感謝を申し上げます。次年度でございます。

今年度の西クラブは27名からのスタートでして、9月に1名増強させていただきました現在、28名で会員構成されております。

会長方針としては『支え合い、助け合い、より具体的な活動を』と掲げさせていただきました。年度スタートから早速、社会福祉に関する奉仕活動として新事業を立ち上げました。各会員の事業所に社会福祉募金箱を作って、目下、募金活動をしている次第です。これを今後コロナに負けないための継続事業として活動していきたいと思っている次第です。

今年度は釧路ロータリークラブ様から輩出されております石田ガバナー補佐様の方針に基づきまして、工藤補佐幹事様、樋口補佐幹事様とともに補佐を盛り立てていく所存でございます。どうぞよろしくお願申し上げます。

結びになりますが、釧路ロータリークラブ様のこれからのますますのご発展、そして舟木会長様・荒井幹事様ますますのご活躍と会員皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。表敬訪問の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

釧路東ロータリークラブ

板倉 正夫会長、益子 良弘幹事

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました本年度の東ロータリークラブ会長を務めます板倉正夫と申します。隣におりますのは幹事の益子良弘君です。1年間どうぞよろしくお願いたします。



釧路ロータリークラブ様におかれましては、日頃からわがクラブに対しまして、特段のご厚情を賜りまして心から感謝とお礼を申し上げます。

私は釧路ロータリークラブを表敬訪問させていただくのは初めてでございます。今年度、釧路ロータリークラブさんから輩出されております石田ガバナー補佐をはじめ、補佐幹事など事務所スタッフの皆さま、舟木会長、荒井幹事様には大変お世話になっており、この場を借りましてお礼を申し上げます。

さて、わが釧路東クラブは今年度、会員数33名のス



タートとなりました。昨年と同じメンバーでの活動となりますが、今年度は2名以上の会員増強を目標にして頑張りたいと存じます。そのためにも各種奉仕活動を通じて地域の皆さまにロータリーをより身近に

知っていただくことが会員増強につながっていくものと考え、取り組んでまいります。

石田ガバナー補佐の方針に基づいて、釧路東ロータリークラブ全員が一致協力して石田補佐を盛り立てていく所存でございますので、どうぞよろしくお願い致します。

結びになりますが、釧路ロータリークラブ様のますますのご発展と舟木会長、荒井幹事のご活躍、会員皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、簡単ではございますが表敬訪問の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

釧路南ロータリークラブ

奈良 清成会長、菊地 祐司幹事



皆さん、こんにちは。本年度、釧路南ロータリークラブ会長を務めさせていただいております奈良と申します。隣におりますのは私をサポートしてくれて

おります幹事の菊地祐司君です。本日はよろしくお願いいたします。

釧路ロータリークラブ様には、私が2017-2018年度に幹事をさせていただいた時におじゃまをさせていただきました。当時の邵会長、後藤幹事には大変お世話になり、楽しいロータリー活動を共有させていただきました。改めまして感謝をさせていただきます。ありがとうございました。

さて、本年度の当クラブのテーマは『チャレンジ』とさせていただきます。本年度はコロナ禍の状況でのスタートでもありましたので、クラブ運営や活動などいろいろなところで「今まではこうしていた」「去年までこうして来た」ということが通用しなくなっておりました。時代の変化に敏感に反応し臨機応変に対応できるクラブ運営のロータリー活動を目指し、スタートし4カ月が経過いたしました。

具体的にはいま現在月1度ですが、ズーム（Zoom）を使用した例会を開催しております。これは出席率の向上と、この先ないことを願うのですがコロナウイ

スの感染拡大へのリスク対策を目的として開催しております。下期からは月1度ではなく、毎週ズーム（Zoom）で対応できるような体制を検討しております。

また、昨年度は当クラブも残念ながら2名の退会者が出てしまいました。金銭的な負担を少しでも減らす目的のもと、1年限定ではありますが、若干の会費の見直しもしております。

クラブ内で毎年話題になって、できていなかったフェイスブック（Facebook）のページも、遅ればせながらこの度開設させていただいてクラブのイメージ向上を図っております。

また、次年度には40周年を迎えることとなりますので、周年に向けた企画立案などクラブメンバーに協力いただきながら、コロナ禍でさまざまな制約がある中、日々チャレンジしているところであります。

第7分区の活動につきましても、各クラブの会長・幹事の皆さまと協力し、石田ガバナー補佐を盛り上げて支えていけるよう頑張りたいと思っております。

最後になりますが、釧路ロータリークラブのますますのご発展と会員皆さまのますますのご隆盛をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

本年、よろしくお願いいたします。

釧路ベイロータリークラブ

森 圭一郎会長、小平 優之幹事

釧路ロータリークラブのみなさん、こんにちは。私が釧路ベイロータリークラブ第24代目の会長を務めております、森圭一郎と申します。



そして今回同席しているのが、幹事の小平優之君です。どうぞ宜しくお願いいたします。

私自身、表敬訪問例会は2回目で、幹事として2017～18年度、釧路クラブさんは邵会長、後藤幹事の年度で、その際は大変お世話になりました。

今年度、釧路ベイロータリークラブは19名からの出発となりました。昨今のコロナ過を鑑みて、上期は基本月4回だった例会を3回とし、今後も引き継ぎ、コロナの状況を見ながら柔軟に対応していく形をとらせていただいております。クラブ会長方針としては「クラブの未来へ向かって、一致団結」と上げさせていた

だき、今まで以上に行動力、団結力、連帯感を持った活動、行動をお願いしており、地域の青少年の育成、地域の活性化に向けて取り組んでいる所です。



また今年度は、地区としてクラブから漆崎ガバナーエレクトを輩出し、来年のガバナー年度に向けまして、10月8日にガバナーエレクト事務所を開設し、成田次年度地区幹事中心に粛々と準備を進めているところでございます。お世話になることが多々あると思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。最後になりますが、釧路ロータリークラブ会員皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈りいたしまして、表敬訪問の挨拶とさせていただきます。1年間よろしく願います、ありがとうございました。

釧路北ローターアクトクラブ

日野 聡子会長 松永 憲人副幹事



みなさま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路北ローターアクトクラブ第50代会長を務めます日野聡子と申します。隣に

おりますのは副幹事の松永憲人会員でございます。今年度どうぞよろしく願います。

はじめに、釧路ロータリークラブの皆さまにおかれましては毎年の助成金をいただき、会員一同心より感謝を申し上げます。また、毎年家族忘年会のご案内をいただき、ご参加させていただけますこといつも嬉しく思っています。誠にありがとうございます。

さて、1971年10月に創立された弊クラブは今年で50年目を迎えております。節目の年に会長職を務めさせていただけていることを大変光栄に思うとともに、非常に身の引き締まる思いでございます。

弊クラブの今年度のテーマは『ベストでいよう、変化を求めて』と掲げております。今年度はR Iの規定により定款の変更があり、アクト自体もさまざまな変化がある年度となっております。その変化の中で50年という歴史深いこのクラブを、私たちはさらに未来のアクターへつなぐ必要があります。そのためには、変化を恐れずに各会員がクラブのベストを考えて行動し、個人・クラブをさらに成長させるべきだと考えております。

また、今年度はSNSを利用しての広報活動に尽力し

ております。若い世代の目に触れやすいFacebook、TwitterなどのSNSでの活動の発信、ホームページやYouTubeチャンネルを開設し、誰でも気になった方が検索すれば、その場で私たちの活動を知ってもらえる環境を整えつつあります。ロータリークラブの皆さまにおかれましては、もしお時間がございましたら、私たちの活動をご覧くださいと幸いです。

今年度が始まり、4カ月が経ちました。弊クラブでは既に7回の例会を開催しております。先月24日には



釧路の子供たちを集めたハロウィンイベントを開催いたしました。直前で釧路市内での新型コロナウイルスの感染拡大があり、非常に不安がある中での開催でしたが、そ

のような状況下でも参加された皆さまのたくさんの笑顔を見ることができ、会員一同が改めて自分たちの活動の意義を感じることができました。

若者が普段できないような経験がローターアクトだと経験できます。この貴重な経験の機会をより多くの若者に知ってもらえるよう、会長としてクラブの活動をさらに盛り上げ、広報活動に努めてまいりたいと思っております。

皆さまの周りにも18歳から35歳までの若い世代の方がいらっしゃいましたらローターアクトクラブという成長の機会をぜひお伝えいただければと思います。また、貴クラブ会員の中島徳政様より2月の例会プログラムとしてローターアクトクラブの活動についてお話させていただく機会をいただいております。誠にありがとうございます。その際、詳しく弊クラブの活動についてご紹介をさせていただければと存じます。引き続き弊クラブへのご指導ご鞭撻をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

最後に釧路ロータリークラブ様、会員の皆さまのますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げ、表敬のご挨拶とさせていただきます。今年度どうぞよろしく願います。

会長謝辞 舟木 博会長

皆さん、お疲れさまでした。本日は石田ガバナー補佐、工藤ガバナー補佐幹事、樋口ガバナー補佐幹事、青木ガバナー補佐副幹事をはじめ、第7分区会長・幹事の皆さまにおいでいただき、誠にありがとうございました。当クラブを代表してお礼申し上げます。

本来ならば7月第1例会で皆さまをお迎えするところですが、今年は特別な年になってしまいました。皆さまも例年通りの年間スケジュールをこなすことができなくなり、大変でしょうが共に苦難を乗り越えて頑張

りたいと思います。

本年度のR I 会長ホルガー・クナーは、『ロータリーは機会の扉を開く。Rotary Opens Opportunities』と、ロータリーの門戸開放を謳い、2500 地区松田ガバナーは『ランクアップしましょう』という言葉で会員の資質向上を謳っております。

当クラブは会長方針「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」を目指して頑張るつもりです。今年も第7分区分会長・幹事会ではクラブ相互訪問を通じて皆

さんと一緒に活動したいと思っております。

最後に本当に大変な年になりましたが、第7分区のこれからの事業と各クラブの事業が最後まで諦めることなく達成できることを祈念して、歓迎の挨拶とさせていただきます。

皆さま、ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 天方 智順君 新聞に載りました。犯人ではありません。
- 杉村 莊平君 ワインなんて、ワインなんてエ～
- 市橋 彦佳丞君 先週開催された、なゆたの会で優勝させて頂きました。

今年度累計 186,000 円